

## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月7日

上場会社名 株式会社 藤商事 上場取引所 東  
 コード番号 6257 URL <https://www.fujimarkun.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 孝司  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画本部長 (氏名) 村上 和繁 TEL 06-6949-0323  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	26,927	7.0	383	—	486	—	122	—
2020年3月期	25,172	△10.0	△2,054	—	△2,279	—	△4,719	—

(注) 包括利益 2021年3月期 1,947百万円(—%) 2020年3月期 △4,603百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	5.49	—	0.3	1.0	1.4
2020年3月期	△210.74	—	△11.0	△4.5	△8.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 ー百万円 2020年3月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	50,795	40,833	80.4	1,823.29
2020年3月期	46,657	40,006	85.7	1,786.35

(参考) 自己資本 2021年3月期 40,833百万円 2020年3月期 40,006百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	△52	△1,363	△1,119	18,286
2020年3月期	1,854	△1,724	△1,119	20,821

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00	1,119	—	2.6
2021年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00	1,119	910.7	2.8
2022年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00		80.0	

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,600	28.5	2,000	421.3	2,000	311.0	1,400	—	62.51

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2021年3月期	24,395,500株	2020年3月期	24,395,500株
2021年3月期	2,000,045株	2020年3月期	2,000,045株
2021年3月期	22,395,455株	2020年3月期	22,395,455株

(参考) 個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	14,798	△28.1	△3,031	—	△2,940	—	△3,800	—
2020年3月期	20,576	△15.5	△2,148	—	△2,302	—	△4,720	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	△169.71	—
2020年3月期	△210.79	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年3月期	45,811		36,766		80.3	1,641.72		
2020年3月期	46,458		40,033		86.2	1,787.57		

(参考) 自己資本 2021年3月期 36,766百万円 2020年3月期 40,033百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

新型コロナウイルス感染拡大の状況をふまえ、2021年5月17日(月)に予定していた決算説明会(アナリスト、機関投資家向け)の開催を見送ることといたしました。なお、決算説明資料については、2021年5月10日(月)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、決算説明会の代替として、決算説明のオンデマンド動画配信を2021年5月20日(木)に行う予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(会計上の見積りの変更) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により社会経済活動が大きく制限されるなか、企業収益や個人消費が減少するなど、総じて厳しい状況で推移いたしました。

パチンコホール業界におきましては、のめり込み防止や依存症対策の一環として過度の射幸性を抑えた遊技機の導入に加えて、店内の換気や消毒・清掃の徹底など新型コロナウイルス感染防止対策を講じており、さまざまな取り組みを通じてファンの皆様がパチンコ・パチスロをより安心・安全に楽しめる環境づくりを推進しております。

また、遊技機業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるパチンコホール様の稼働低迷に加え、旧規則機の撤去期限が延長されたことにより、新規則機の購入を手控える動きがみられ、新台販売は低調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、安定した業績の確保と中長期的な成長の実現に向けて、徹底した市場ニーズの調査とお客様目線の追求による稼働力向上を最重点課題として、新機種の開発に取り組んでまいりました。

遊技機事業につきましては、パチンコ遊技機にて2020年4月に販売した「Pリング 呪いの7日間2」を皮切りに、新たなゲーム性「遊タイム」を搭載した機種を積極的に投入してまいりました。また、新規大型タイトルとして市場投入いたしました「Pとある魔術の禁書目録（インデックス）」につきましては、導入後も好調な稼働を積み重ねることで追加受注をいただくなど、お客様から高い評価をいただき、当社グループの次世代を担う主力タイトルとしての基盤を築きました。

パチスロ遊技機につきましては、6号機市場の低迷および型式試験の適合状況などをふまえ、発売を見送りました。

デジタルコンテンツ事業につきましては、昨今のゲームアプリ市場およびリリース後の収益見通しなどを慎重に検討した結果、ゲームアプリの開発を中止し、経営資源を遊技機事業に集約することといたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高269億27百万円（対前年同期比7.0%増）、営業利益3億83百万円（前年同期は営業損失20億54百万円）、経常利益4億86百万円（前年同期は経常損失22億79百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益1億22百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失47億19百万円）となりました。

製品別の状況は次のとおりであります。

#### （パチンコ遊技機）

上半期では、新規タイトルとして「Pリング 呪いの7日間2」（2020年4月発売）、「P遠山の金さん2 遠山桜と華の密偵」（2020年7月発売）を市場投入いたしました。

また、下半期は新規タイトルとして「Pとある魔術の禁書目録（インデックス）」（2020年10月発売）、「P FAIRY TAIL 2」（2021年1月発売）、「P戦国†恋姫 Vチャージver」（2021年2月発売）、「P緋弾のアリア ～緋弾覚醒編～」（2021年2月発売）を市場投入したほか、その他シリーズ機種などを継続販売いたしました。

以上の結果、販売台数は70千台（対前年同期比40.8%増）、売上高は269億20百万円（同37.6%増）となりました。

#### （パチスロ遊技機）

パチスロ遊技機につきましては、当連結会計年度での新機種の発売はありませんでした。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は329億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億78百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が55億75百万円増加したことに対し、現金及び預金が25億35百万円、有価証券が5億円減少したことによるものであります。固定資産は178億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億58百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が22億46百万円増加したことに対し、繰延税金資産が4億34百万円、長期前払費用が1億67百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は507億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億37百万円増加いたしました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は82億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億88百万円増加いたしました。これは主に、買掛金が20億82百万円、未払法人税等が4億5百万円、未払金が3億58百万円増加したことによるものであります。固定負債は17億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ78百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は99億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億10百万円増加いたしました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は408億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億27百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益1億22百万円および剰余金の配当11億19百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は80.4%となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、182億86百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は52百万円となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益4億64百万円、減価償却費22億8百万円、仕入債務の増加額17億71百万円、未払金の増加額5億75百万円などが増加の要因であり、売上債権の増加額54億12百万円、法人税等の支払額2億67百万円などが減少の要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は13億63百万円となりました。

これは主に、有価証券の償還による収入6億円などが増加の要因であり、有形固定資産の取得による支出19億20百万円などが減少の要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は11億19百万円となりました。

これは、配当金の支払によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済の見通しにつきましては、経済活動は引き続き新型コロナウイルス感染拡大の動向に左右される先行き不透明な状況が続くものと想定されます。

パチンコホール業界におきましては、徹底した新型コロナウイルス感染防止対策により、お客様が安心・安全に楽しんでいただける遊技環境の提供に努めるとともに、旧規則機の撤去期限を見据えた新規則機への計画的な入替が進むものと見込まれます。

また、遊技機業界におきましても、コロナ禍における新しい生活様式の定着、新規則機への移行をうけて、ファンの皆様の遊技動向やパチンコホール様の購買行動が大きく変化することが予測されます。

当社グループとしましては、徹底したお客様目線によるものづくりを推進するとともに、市場におけるニーズの変化やトレンドをいち早く商品に反映していくことで、多くのファンの皆様から支持される遊技機を提供してまいります。そして、新規タイトルや新ジャンルの創出に加え、今までの習慣や常識にとらわれない斬新なアイデアや新機能を積極的に採り入れることにより、商品のさらなる差別化を図ってまいります。

このような稼働力を備えた商品力の高い機種を継続的に市場投入することで、当社グループの遊技機の優位性を確立するとともに、地域特性や多様化するパチンコホール様の入替ニーズに対応した営業活動を推進することで、販売台数の確保に努めてまいります。

また、開発から部材調達、生産の各プロセスにおける原価低減や業務の効率化に努めることで利益体質を強化し、強固な経営基盤を構築してまいります。

以上の状況を踏まえ、2022年3月期の連結業績につきましては、売上高346億円（対前年同期比28.5%増）、営業利益20億円（同421.3%増）、経常利益20億円（同311.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益14億円を予想しております。

なお、当社グループの遊技機事業は販売戦略に基づき、期中を通じて機動的に新機種の投入を行う必要があることから、第2四半期連結累計期間の連結業績予想については開示しておりません。

(注) 遊技機の製造・販売については、風営法等に定める「技術上の規格」への適合について、指定試験機関による型式試験および各都道府県公安委員会による検定を受ける必要があります。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、遊技機の型式試験の適合状況をはじめ、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	21,222	18,687
受取手形及び売掛金	1,901	7,476
電子記録債権	769	606
有価証券	600	100
商品及び製品	0	133
原材料及び貯蔵品	3,883	3,474
前渡金	2,067	2,292
前払費用	116	119
未収還付法人税等	—	63
その他	177	169
貸倒引当金	△156	△162
流動資産合計	30,582	32,960
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	6,370	6,413
減価償却累計額	△2,898	△3,157
建物及び構築物 (純額)	3,471	3,255
機械装置及び運搬具	3,583	3,585
減価償却累計額	△2,670	△2,888
機械装置及び運搬具 (純額)	912	697
工具、器具及び備品	11,688	12,217
減価償却累計額	△10,824	△10,956
工具、器具及び備品 (純額)	864	1,260
土地	3,152	3,152
建設仮勘定	23	176
有形固定資産合計	8,424	8,541
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	187	205
その他	124	124
無形固定資産合計	312	330
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,858	5,105
長期前払費用	2,830	2,663
繰延税金資産	1,016	581
その他	1,121	1,101
貸倒引当金	△489	△489
投資その他の資産合計	7,338	8,961
固定資産合計	16,075	17,834
資産合計	46,657	50,795

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,048	5,130
未払金	1,095	1,453
未払費用	141	161
未払法人税等	167	572
賞与引当金	312	477
その他	82	439
流動負債合計	4,845	8,234
固定負債		
退職給付に係る負債	900	784
資産除去債務	265	302
その他	640	641
固定負債合計	1,806	1,727
負債合計	6,651	9,962
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,228	3,228
利益剰余金	35,307	34,310
自己株式	△2,324	△2,324
株主資本合計	39,493	38,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	540	2,194
退職給付に係る調整累計額	△27	142
その他の包括利益累計額合計	512	2,336
純資産合計	40,006	40,833
負債純資産合計	46,657	50,795



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	25,172	26,927
売上原価	11,974	13,949
売上総利益	13,197	12,978
販売費及び一般管理費	15,252	12,595
営業利益又は営業損失(△)	△2,054	383
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	58	41
受取賃貸料	21	20
助成金収入	—	20
その他	43	35
営業外収益合計	127	119
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	235	—
シンジケートローン手数料	112	10
賃貸収入原価	3	5
その他	1	0
営業外費用合計	352	16
経常利益又は経常損失(△)	△2,279	486
特別利益		
固定資産売却益	1	8
特別利益合計	1	8
特別損失		
投資有価証券評価損	0	19
固定資産売却損	0	3
固定資産除却損	48	7
減損損失	104	—
特別損失合計	152	30
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△2,430	464
法人税、住民税及び事業税	292	631
法人税等調整額	1,996	△289
法人税等合計	2,288	341
当期純利益又は当期純損失(△)	△4,719	122
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△4,719	122

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△4,719	122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	140	1,654
退職給付に係る調整額	△24	170
その他の包括利益合計	115	1,824
包括利益	△4,603	1,947
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△4,603	1,947

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,281	3,228	41,147	△2,324	45,332
当期変動額					
剰余金の配当			△1,119		△1,119
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 株主に帰属する当期純 損失(△)			△4,719		△4,719
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△5,839	—	△5,839
当期末残高	3,281	3,228	35,307	△2,324	39,493

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	退職給付に係る調整 累計額	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	399	△2	396	45,729
当期変動額				
剰余金の配当				△1,119
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 株主に帰属する当期純 損失(△)				△4,719
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	140	△24	115	115
当期変動額合計	140	△24	115	△5,723
当期末残高	540	△27	512	40,006

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,281	3,228	35,307	△2,324	39,493
当期変動額					
剰余金の配当			△1,119		△1,119
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 株主に帰属する当期純 損失 (△)			122		122
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	△996	—	△996
当期末残高	3,281	3,228	34,310	△2,324	38,496

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	退職給付に係る調整 累計額	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	540	△27	512	40,006
当期変動額				
剰余金の配当				△1,119
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 株主に帰属する当期純 損失 (△)				122
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	1,654	170	1,824	1,824
当期変動額合計	1,654	170	1,824	827
当期末残高	2,194	142	2,336	40,833

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△2,430	464
減価償却費	2,329	2,208
貸倒引当金の増減額(△は減少)	237	6
賞与引当金の増減額(△は減少)	△151	164
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△46	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	37	66
受取利息及び受取配当金	△62	△43
固定資産売却損益(△は益)	△1	△5
固定資産除却損	48	7
投資有価証券評価損益(△は益)	0	19
減損損失	104	—
売上債権の増減額(△は増加)	414	△5,412
たな卸資産の増減額(△は増加)	828	275
前渡金の増減額(△は増加)	416	△225
長期前払費用の増減額(△は増加)	21	297
仕入債務の増減額(△は減少)	△958	1,771
未払金の増減額(△は減少)	501	575
その他	185	△6
小計	1,474	164
利息及び配当金の受取額	66	43
法人税等の支払額	△489	△267
法人税等の還付額	802	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,854	△52
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	700	600
投資有価証券の取得による支出	△100	—
有形固定資産の取得による支出	△2,203	△1,920
有形固定資産の売却による収入	1	12
無形固定資産の取得による支出	△66	△75
その他の支出	△64	△4
その他の収入	8	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,724	△1,363
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△1,119	△1,119
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,119	△1,119
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△989	△2,535
現金及び現金同等物の期首残高	21,810	20,821
現金及び現金同等物の期末残高	20,821	18,286

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは、遊技機事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,786.35円	1,823.29円
1株当たり当期純利益または1株当たり当期純損失(△)	△210.74円	5.49円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益または1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益または親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	△4,719	122
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益または親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	△4,719	122
普通株式の期中平均株式数(株)	22,395,455	22,395,455

（重要な後発事象）

該当事項はありません。